

集团的自衛権を考える
超党派の議員と市民の勉強会（第15回）

安保法制を読み解く —安倍政権の狙い—

日時：6月16日（火）17:30～19:00

場所：参議院議員会館 講堂

基調講演：半田滋さん（東京新聞 論説委員兼編集委員）

資料代：500円

集团的自衛権の行使容認を決めた昨年7月の閣議決定から1年。安倍内閣は、多くの国民・市民の反対や不安の声を無視して、今国会で戦争法案を成立させようとしていることに対して、「説明不足」81.4%（共同通信）、「少なくとも今国会での成立反対」82%（テレビ朝日）など、怒りと批判の声が上がっています。

歴代内閣が一貫して違憲としてきた集团的自衛権を、たった一度の閣議決定で変更したことに対して、衆議院憲法審査会で与党推薦の参考人までもが「憲法違反」と明言しました。まさに前代未聞です。安倍総理が行おうとしているのは、立憲主義を踏みにじるクーデタそのものです。

平和安全特別委員会における安倍総理や中谷防衛大臣の答弁は、支離滅裂です。他国における武力行使の判断が、時の政権の恣意的判断に委ねられ、歯止めが全く効かないことも明らかにされました。

日本の戦後平和主義を根底から破壊するこの法案について、東京新聞の半田滋さんから多角的に読み解いていただき、安倍政権が狙っていることの危険性や問題点について、いっしょに議論したいと思います。

たくさんの議員、秘書、市民、メディアのみなさんの参加をお待ちしています。ぜひお集まりください！

呼びかけ人[6/10 現在、順不同]：

有田芳生（参）、藤末健三（参）、小宮山泰子（衆）、真山勇一（参）、赤嶺政賢（衆）、仁比聡平（参）、主濱了（参）、玉城デニー（衆）、山本太郎（参）、照屋寛徳（衆）、福島みずほ（参）、糸数慶子（参）、立憲フォーラム（近藤昭一（衆）江崎孝（参））

連絡・問い合わせ：福島みずほ事務所（03-6550-1111）、江崎孝事務所（03-6550-0511）、真山勇一事務所（03-6550-0320）、仁比聡平事務所（03-6550-0815）、主濱了事務所（03-6550-0817）